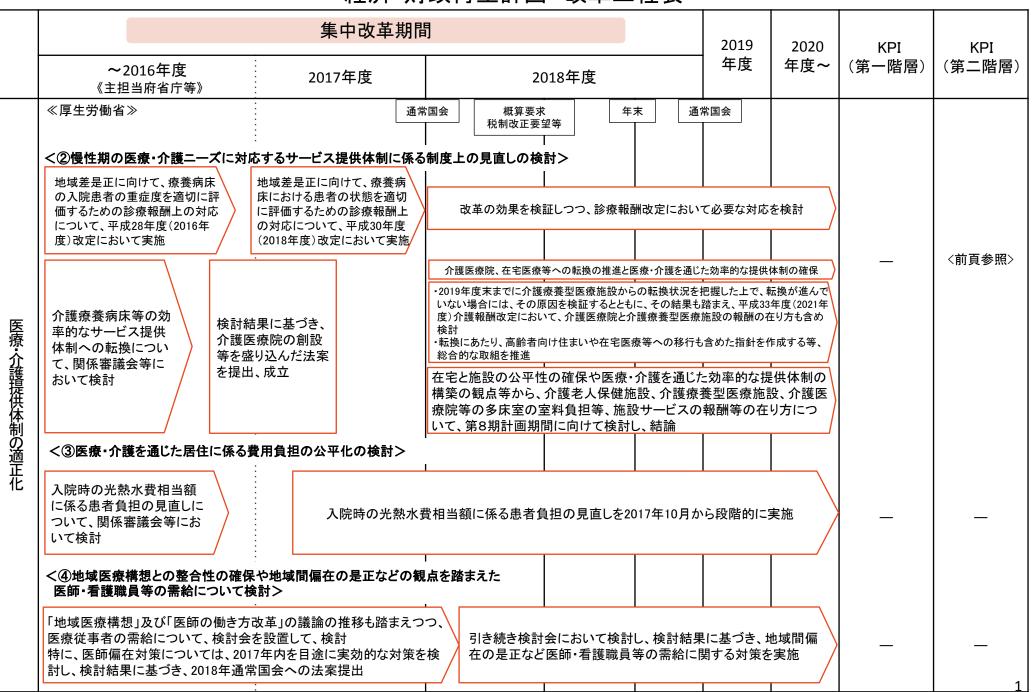
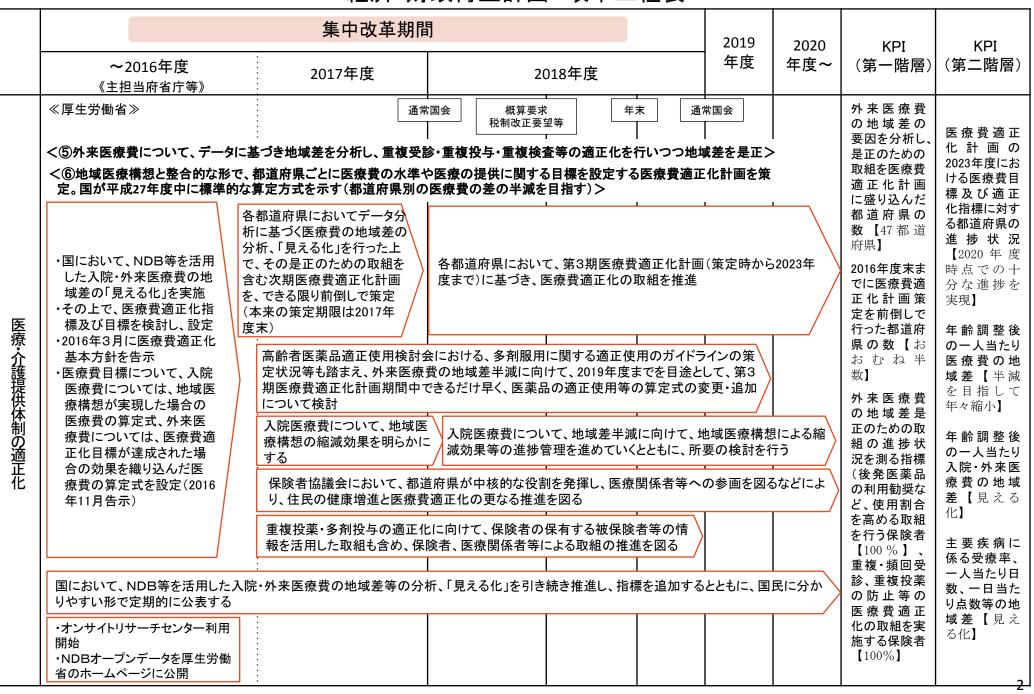
経済·財政再生計画 改革工程表 2017改定版 (平成29年12月21日経済財政諮問会議) (保険局関係抜粋)

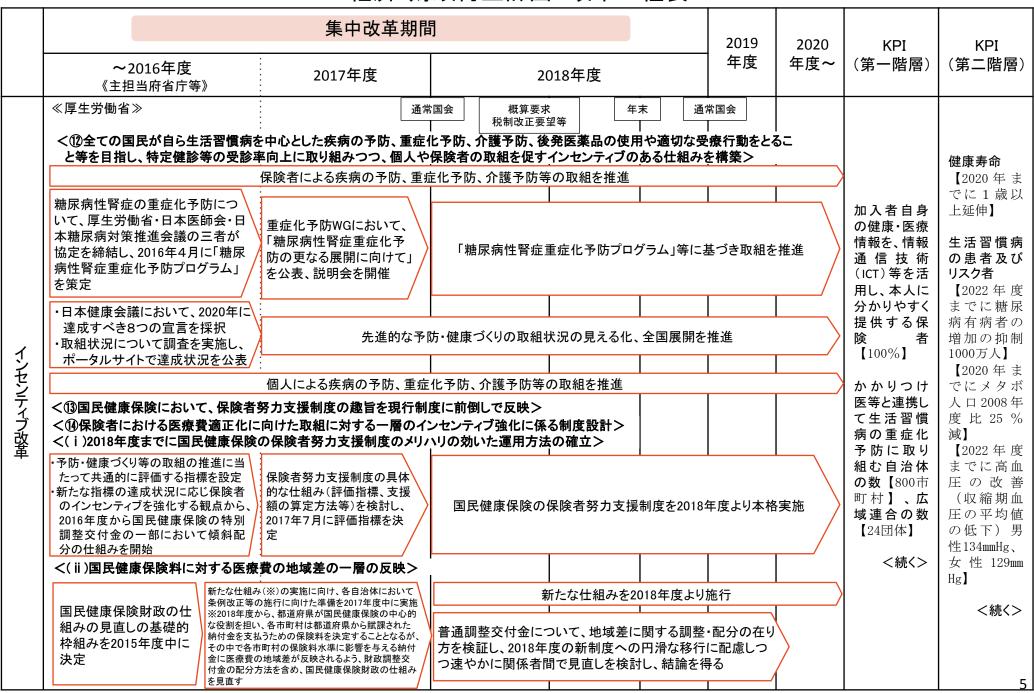
平成30年4月19日 厚生労働省保険局

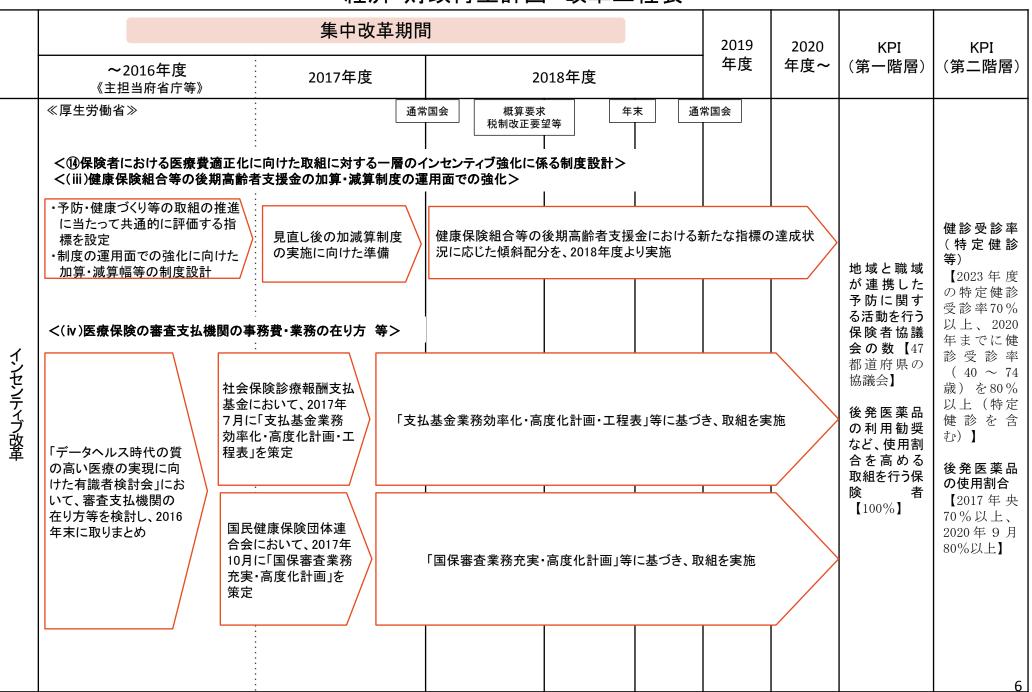


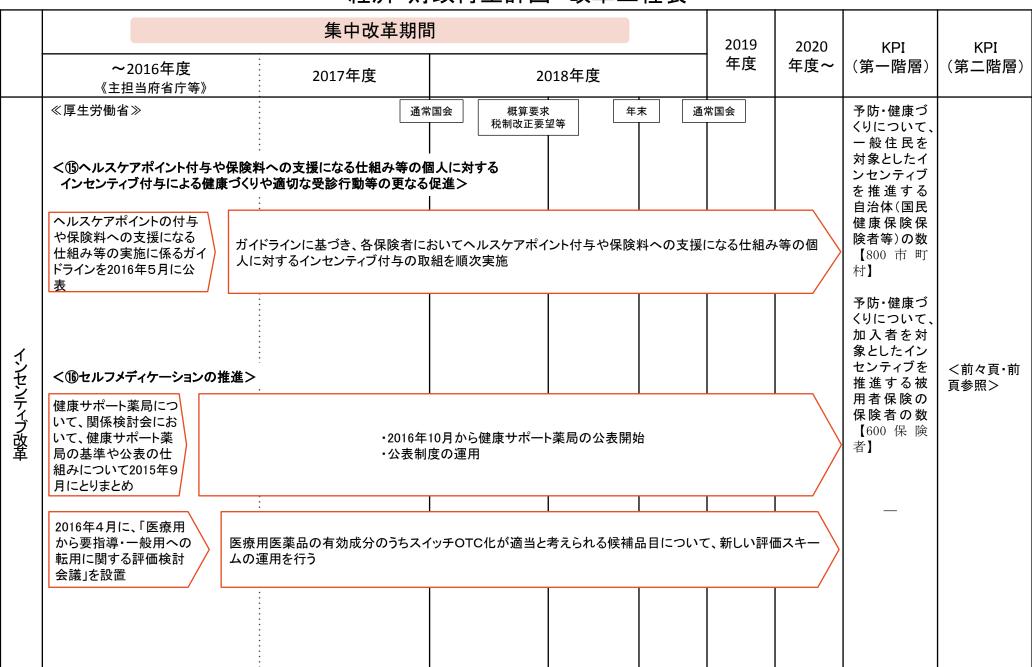


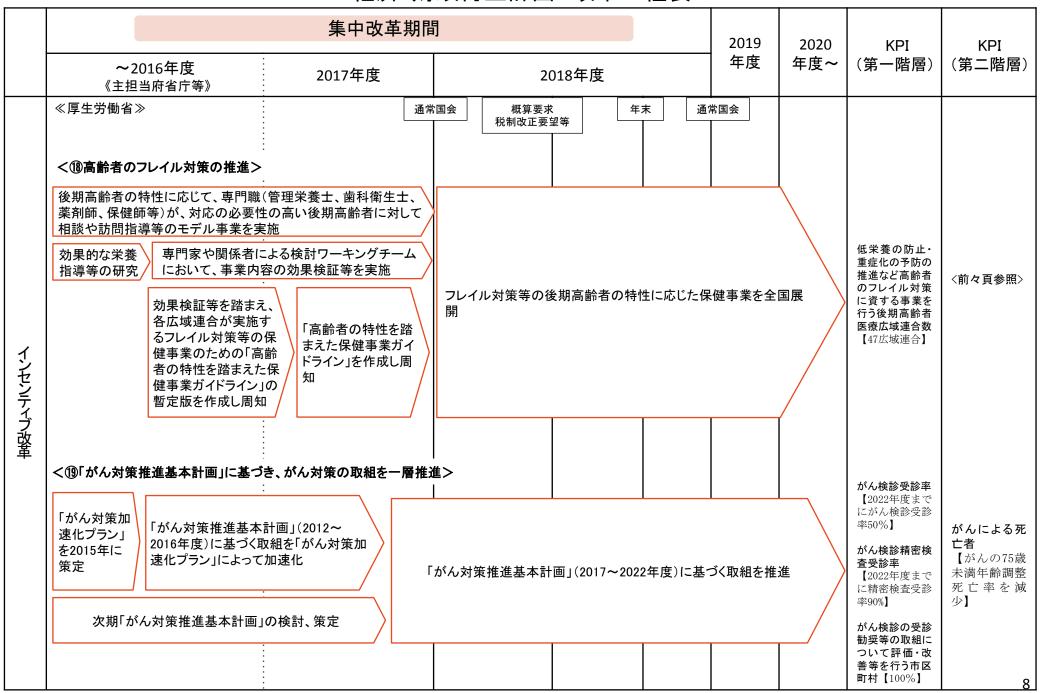
		集中改革期間	¶		2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2018年	度	年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
医療・介護提供体制の適正化	《主担当府省庁等》 《厚生労働省》 〈⑨かかりつけ医の普及の観点から かかいの普及の観点から かがいのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	の診療報酬上の対応や外来時 一般能分化を進める観点から、紹介 一般能力のでは、 一般に一の機能財産をでした。 一般に一の機能財産をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象をでした。 一般に一の対象を変いる。 一般に一の対象を変いる。 一般に一の対象を変いる。 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に一のが、 一般に、 一般のの。 一般に、 一述、 一述、 一述、 一述、 一述 一述、 一述、 一述、 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述 一述	病国会 概算要求 税制改正要望等 の定額負担について検討> 介状なしの大病院受診に対す に分化や医療保険財政の持続可以がを受診した場では、かかりつけ医以外を受診した場でして、関係審議会等においては しを検討>	年末 通 通	常国会 4月から導力		(第 か機す酬域料包算 況 か能るで包 、 括の 増 つ評療る診地療定 】	(第 大者状し合上60 患月し関る 病のなた【の% 者間た数化 受紹受の床院】 1受療見 がに医【 がいきします か診機え
	容の現場における実施状況に関する検証 等の方法を研究							3

	2046/7	集中改革期間		2019 年度	2020 年度~	KPI (第一階層)	KPI (第二階層)
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2018年度		一一	(为 相信)	(为一阳间)
	《厚生労働省》 <⑪都道府県の行う病床再編や地域 <(i)改革に取り組む都道府県を重点 病床の機能分化・連	· 差是正の努力を支援するため(^{:国会} // // // // // // // // // // // // //	>		
	点的な配分		連携に係る事業への重点的な配分の取組を、2016年	∈度以降も継	続		
医療・介護提供体制の適正化	 <(iii)機能に応じた病床の点数・算定平成28年度診療報酬改定及び平成28年度診療報酬改定及び平成28年度を含む機能に応じた病床の点数・算定要件上の適切な評価について、平成28年度(2016年度)診療報酬で対応 <(iv)都道府県の体制・権限の整備の 	高齢者医療確保法第14条の診療報酬の特例の活用方策について、関係審議会において対象において対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対		が要な対応を と 、2014年の活	E検討	_	病分た料状(基定数患小の踏基算 入を病小【 後ま基算 入を病小【 都数 能え本定 院算床、縮
		中止の命令等や、非稼働 病床の削減の命令等について、具体的な事例や検 討手順の整理に向けて医療計画の見直し等に関する検討会において議論					A .



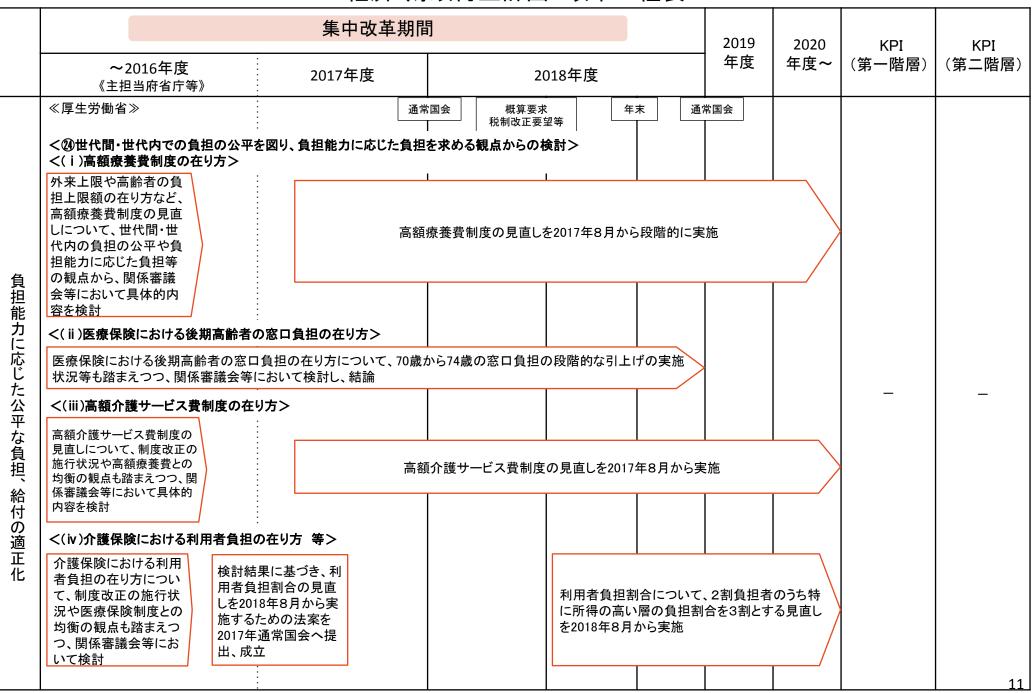






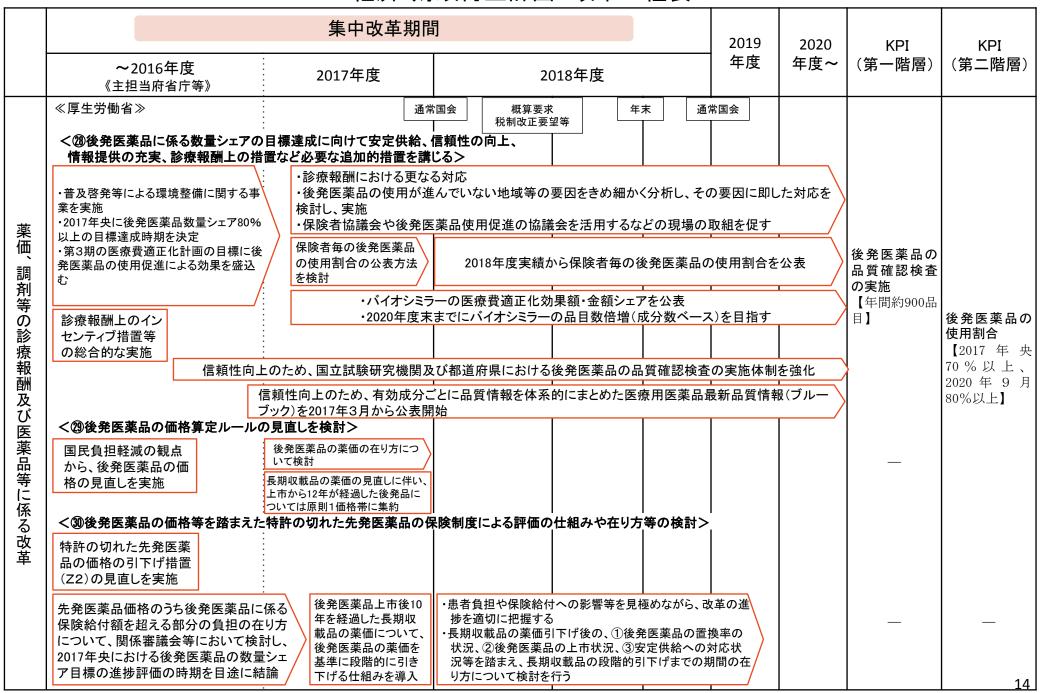
			<u> </u>	<u> </u>			1	1
	~2016年度	集中改革期間	Γ		2019 年度	2020 年度~	KPI (第一階層)	KPI (第二階層)
公的サービスの産業化	《早生労働省》 《厚生労働省》 《四民間事業者も活用した保険者に取組との連携も図りつつ、好事例を ・田本健康会議において、2020年に達成する。予防サービス・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで			例の要素を反映し、更に変	 	的な取組	がなりない。 があるとしています。 があるとしています。 があるとしています。 があるとしています。 があるとしています。 があるとしています。 がたりではないでは、では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	各お維活重発薬の【見保し、病患、薬状化】 (は) をは) は、病患、薬状化】 (の) をは) は、病患の、薬状化】 (の) をは) は、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、寒に、

					1			
_		集中改革期間	1		2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2018年度		年度	年度~	(第一階層) 	(第二階層)
	≪厚生労働省≫	通常	幣国会 概算要求 税制改正要望等	年末 通	常国会			
	<②マイナンバー制度のインフラ等を <(i)医療保険のオンライン資格確認							
	田対効果等を検討 医療保険の	時号の個人単位化を含め、 のオンライン資格確認の段 の実施に向けた検討・準	医療保険のオンライン資格	確認等の段階的な	は導入	医療保険 のオンラ イン資格 確認の本 格運用開 始		
	<(ii)医療・介護機関等の間の情報返	・ 連携の促進による患者負担軽減	' 或と利便性の向上>					
公的サービスの産業化		の情報連携に用いる識別 な格運用に向けた準備	医療等分野の情報連携に用し 2020年からの本格運用を目指 ン資格確認の基盤も活用し、シ	して、医療保険の	オンライ	医療野の情報に 情報に 別の 別の の の の の の の の の の の の の の	_	_
	<(iii)医療等分野における研究開発	: の促進>						
	医療情報を診断支援や臨 床研究等の基盤として活 用する仕組みを構築する とともに、人工知能を用い て利活用することについ て、臨床研究等ICT基盤	:	・仕様の検討を行った上で、試験	l	- 按:雷田間 10			
	構築・人工知能実装研究 事業により検討		人名马尼江 () 同()			/		
		<u> </u>						10



		栓角"則	[<u>. 以中工</u>	性衣				
		集中改革期間	1			2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2	018年度		年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化	イ芸保障以事プログラム法における検討事項である介護納付金ののでは、関係審議会等において、関係審議会等において検討 マ(ii)その他の課題> 現役被用者の報酬水準に応じた保証で検討し、結論 マ(您医療保険、介護保険ともに、マイる仕組みについて検討> 医療保険において、介に、介に、会員では、会員では、会員では、会員では、会員では、会員では、会員では、会員では	:保険料負担の公平を図るため 果に基づき、 対金の総報 017年8月 段階的に実 こめの法案 手通常国会 成立 ::	・ 接納付金の総報酬割に その他の課題について は資産等の保有状況を は資産の把握に向けた の反映方法について	望等 こついて、2017年 このいて、2017年 、関係審議会等 は、関係を踏議会等は に取組を踏議会等は に関係を踏議会等に に関係を踏まえ等に に関係を対しては、改り	度 から ら 段 階 に 担を 引い イ る よ よ り か よ り れ し れ り り し り し り し り り し り し り り し り り り り	「一法(公布F I座への付番	開始後3	_	

		集中改革期	間						2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度		2018年	度				年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
	≪厚生労働省≫		通常国会	概算要求 税制改正要望等		年 元	末	通'	常国会			
	<切公的保険給付の範囲や内容にく(ii)医薬品や医療機器等の保険おいて試行的に導入した上で、速	食適用に際して費用対効果を	き考慮するこ				设置	別に	1			
臽	費用対効果評価について、 評価対象の選定方法や評 価結果の活用方法等につい て、平成28年度(2016年度) 診療報酬改定での試行的 導入を実施	試行的実施の対象 となっている13品目 について、これまで の作業結果を踏ま え、2018年4月から 価格調整を実施	試行的 への対 向けて、	実施において明らか 応策を整理することと その具体的内容に 度中に結論	:併せて	、本村	格実施に	= \				
担能	く(iii)生活習慣病治療薬等について 生活習慣病治療薬等の処方の在り方等につい			討>								
りに	生活首頂柄石原菜等の処力の任り万等に Jule して、専門家の知見を集約した上で検討し、結											
負担能力に応じた公平な負担、		生活習慣病の重症化予防に いて、平成30年度(2018年度 診療報酬改定において対応	<u>:</u>)									
公平	<(iv)市販品類似薬に係る保険給付公的保険給付の範囲の	けについて見直しを検討> ∶									_	_
· な 自	見直しや医薬品の適正使 用の観点等から、平成28											
	年度(2016年度)診療報 酬改定において、長らく市											
給付の適	販品として定着したOTC 類似薬を保険給付外とす ること等について検討し、 湿布薬の取扱いを見直し											
正化	スイッチOTC化された 医療用医薬品に係る 薬剤自	<u>:</u> 己負担の引上げについて、	市販品と医	Ⅰ 療用医薬品との問	の価格	I ትወ፣	バランス					
	保険償還率の在り方に	の適正使用の促進等の観点 き関係審議会等において検討・	点を踏まえつ	つ、対象範囲を含	め幅広	い観	見点から					
	<(v)不適切な給付の防止の在り方I	について検討 等>						_				
	保険医療機関	に対する指導監査及び適時	調査につい	て、見直しを検討				<u> </u>				13



		経済・財	政再	生計画改	【革工程表				
		集中改革期間	1			2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度		2018年	度	年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
	≪厚生労働省≫	通常	(国会	概算要求 税制改正要望等	年末 通	通常国会			
	<③基礎的な医薬品の安定供給、 評価等を通じた医薬品産業の国	、創薬に係るイノベーションの推進 際競争力強化に向けた必要な措							
薬価、調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革	基礎的医薬品の安定供 給に必要な薬価上の措 置、新薬創出・適応外薬 解消等促進加算制度の 在り方や、先駆け審査 指定制度の対象となる 医薬品など医療上の必 要性の高い医薬品に係 る評価の在り方につい て、平成28年度(2016年度)診療報酬改定で対 応 2015年9月に取りまとめた「医薬品づき、臨床研究・治験活性化等のの 的医薬品等の安定供給の確保等の	イノベーションの推進や、基礎	を対象の・引組を変える。	Eしつつ、次期改定に 品目を比較薬とするもり 計置を検討する 焼き、臨床研究・治験 医品産業強化総合戦	発・製造・流通等への に向けて、新薬創出等 場合の薬価算定の見	を加算直し等、 直し等、 ・ションの推進		_	_
 薬 品				整備を進める 	 ●の開発促進				
等 に	<②市場実勢価格を踏まえた薬価	•							
係 る 	薬	価について、市場実勢価格を踏ま	· え、診療	・ 報酬改定において	適切に評価				
革	<劉薬価改定の在り方について、	その頻度を含め検討>							
	「薬価制度の抜本改革に向けた基 方針」(2016年12月)に基づき、薬値 制度の抜本改革に向け、取り組む		5場規模が を改定する されている 薬価改定年 場実勢価格	350億円を超えたものは、 5 2019年度、2年に1度の 手度(2年に1度の薬価改 6の推移、薬価差の状況、	年4回の新薬の保険収載 薬価改定が行われる20204 定の間の年度)となる202	はの機会に市場拡 年度においては、 1年度における薬	な大再算定の 全品目の薬 延価改定の対		15

			集中改革	革期間					2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁		2017年度		:	2018年度			年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
薬価、調剤等の診療報酬及び		等》 形成に向けた医 善に関する懇談	薬品の流通改善> (会の提言(2015年9 <u></u>	流通改き インを作 結減算制 な医薬品 関係者と	国会 概算要 税制改正图	求 ^実 望等 り組むととも っため、まずは いくこととし、 珍療報酬上の め流通の効量 査結果公表を	、流通 当該力 対応な 率化を こ などの「	該懇談会に	常国会 おいて定期 取り組む・内容 するとともに 業者等の事	的に進捗がイドラマをできる。安定の	医コ装梱有 が	200床以上の病院における単品単価取引が行われた医薬品のシェア【60%以上】調剤薬局チェーン(20店
び医薬品等に係る改革		医療機器の流道	温価格の適正化を検 通改善に関する懇談 更し、対応策を検討。 平成29年度(2017度)価格調査を踏ま 情に保格の適切ないでは、 質価格ののででは、 ででは、 ででは、 でで対応。	会医においません。 はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま							海域、袋 造番号等)の表 示率 【100%】	舗以上)における単品単価取引が行われた 医薬品のシェア【65%以上】 妥結率【見える化】

	l		WHILL ST	·	1	i	1
		集中改革期	間	2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2018年度		年度~	(第一階層)	(第二階層)
薬価、調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革	《厚生労働省》 〈③かかりつけ薬局推進の薬・残薬管理や地域包括 がかりつけ薬局の機能を明確化した薬局の姿を示す「患者のための薬を示す「患者のだ。ジョン」を2015年10月に策定 〈③平成28年度診療報酬薬学管理料の妥当性、	のための薬局全体の改革の検討、薬剤ケアへの参画を目指す> のための薬局ビジョン」実現に資するかけ薬剤師・薬局機能の強化のためのリモデル事業を2016年度から実施 各都道府県の取組について情報共有及び議論を行うワークショップを開催し、先進・優良事例の横展開	開師による効果的な投 ・「患者のための薬局ビジョン」を踏った。 な把握等を行うかかりつけ薬剤師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	薬局を推進)取組を集めた事例集を 技術料・ ウ在宅医	作成し横	「薬にすのき捗時な 重作組ま年のおどうき薬評標各のを 薬止の15年のからのでは、一次での2を指別でお というのでは、大きででは、大きのでは、大きででは、大きででは、大きでででです。 これののでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	重複投薬の件 数等【見える 化】

		性/月 - 別	以书生計画 5	以				
		集中改革期間			2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度	2018年	连度	年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
薬価、調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革	《厚生労働省》 〈劉診療報酬改定における前回改定への分かりやすい形での説明〉 保険料などの国民負担、保険財政に係る状況、物価・賃金の動け、医療機関の必要なの検証結果等を経済を表す。 前回改定の検証結果等をといる。 (2016年度)診療報酬改定を実施 診療報酬改定の内容について、中	の結果・保険医療費への影響 医療費の伸び、保険料 などの国民負担、物価・ 賃金の動向、医療機関 の収入や経営状況、保 険財政や国の財政に係 る状況を踏まえ、平成30 年度(2018年度)診療報 酬改定を実施		反映及び改定水準や				
	<u>:</u>				<u> </u>			18

		栓)	「 財政性	生計画	- 改車工	-程表				
		集中改革	期間				2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	2017年度		20)18年度		年度	年度~	(第一階層)	(第二階層)
年金		に基づく年金関係の検討> 本	の規定に月を の規定に月を が、 が、 なおに のが、 ではます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が表示である。 をでする。 をでする。 をののでは、 をののでは、 では、 をののでは、 では、 をののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(動) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	享生年し、保険の 金、その 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一				
	を行い、その結果に基づき、法案 個人所得課税について、総合的が 議論 《劉(iv)の個人所得課税につい	いつ一体的に税負担構造を見	 .直す観点か I	ら、今後、政府	税制調査会に	おいて、論点 	を整理しつつ			19

		集中改革期間	1			2019	2020	KPI	KPI
	~2016年度 《主担当府省庁等》	: : 2017年度 :	20	018年度		年度	年度~	I	(第二階層)
生活保護等	《厚生労働省》 《厚生労働省》 《 ⑩就労支援を通じた保護脱却の指 〈 ⑪生活保護の適用ルールの確実 〈 ⑪平成29年度の次期生活扶助基 真に必要な保護の在り方や更なる 必要な見直し 〉 生活保護受給者の後発医薬品の使までに75%とするとともに、2017年央の達成時期の決定状況等を踏まえ、いて、2018年度とすることを基本とし類回受診等に係る適正受診指導の存正化を推進 生活保護受給者に対する健康管 生活保護からの就労・増収等を通じのとなるよう、就労意欲の向上の観 2017年度の次期生活扶助基準の検の推進等の観点から、生活保護制度を表して、2017年度の次期生活技動基準の検	進のためのインセンティブ付けをでは、 さいつ適正な運用、医療扶助を関連のための施策等、制度をでは、1000円のでは、2017年目のでは、2017年目のでは、2017年目のでは、1000円間では、10	常国会 税制 では 大き では できます できます できます できます できます できます できます できます	年年 日本	・ (化) ・ (水) ・ (本) ・ (本	けた更なる耶まえつつ、いて検討する 「一」 いかけた必ずに向けた必ずいの効果的 しための適な	対組の わゆ)要な 的なも	就等【で 医正自る使の【 頻を治【 労のの1800	

